

名前 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 組 \_\_\_\_\_ 番 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 点 \_\_\_\_\_

1 次の文につながる言葉を選んで——でつなぎましょう。

- 北アルプスのゆう大な自然に、目を **すくむ**。
- 目標に向かって共にあせを流すと、心が **ひるがえす**。
- とつ然のはげしいかみなりに、体が **みはる**。
- ぶつかりそうになって、ひらりと身を **流れる**。
- 通い合う。

各10/40

2 ( ) に合う言葉を、□ から選んで書きましょう。

弟は、( **いかにも** ) 分かった顔をしているが、わり算の基本が、( **まるつきり** ) 分かっていない。

駅前にアイドルが現れると、( **にわか** ) に人だかりができた。アイドルは、ファンに **あらんかぎり** の笑顔をふりまいた。



いかにも おまけに まるつきり あらんかぎり にわか

3 が、例えを表す言葉には○を、様子を表す言葉には△をつけましょう。

- ( **△** ) つぶつぶ暗いあわが流れています。
- ( **○** ) 魚が、口を輪のように円くしてやって来た。
- ( **△** ) かにたちは、ぼかぼか流れていくやまなしを追いました。
- ( **○** ) 波から来る光の黄金のあみは、ゆらゆらゆれ流れていく。

各10/40

名前 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 組 \_\_\_\_\_ 番 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 点 \_\_\_\_\_

1 次の文につながる言葉を選んで——でつなぎましょう。

- 恩師との長年の年賀状のやり取りが **そむける**。
- 世界各地で起きる争いの事実から目を **ひるむ**。
- この試合にかける相手の意気込みに、思わず **しむける**。
- あんな大発見をするなんて、かれは天才としか **とぎれる**。

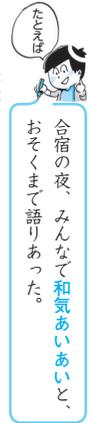
各10/40

2 次の文の( ) にあてはまる言葉を、□ から選んで書きましょう。

- 人生は ( **ほんの** ) つかの間だから、自分らしく生きたい。
- 相手がだれだろうと、約束は、( **あくまでも** ) 大事にしたい。
- 学級会でほとくの提案は、( **すかさず** ) 反論された。
- 母の手作りのプリンは、( **とびきり** ) おいしい。

各10/40

3 「和気あいあい」という言葉を使って、短い文を作りましょう。



合宿の夜、みんなと和気あいあいと、おそくまで語りあった。



たえは

この例文を少し変えて書いてみてください。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

名前 \_\_\_\_\_



の部分を共通した言葉に言いかえるのね。



↓

ねる

目印を残す



日記を書く



値段を決める



打席に入る



席をはなれる



予定が決まる



↓

たつ

名前 \_\_\_\_\_



あたためる



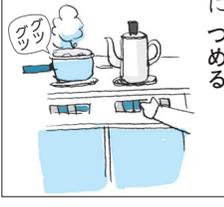
したためる



おりたためる



思いつめる



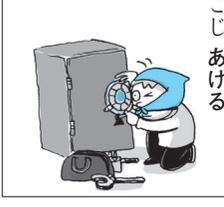
につめる



追いつめる



ぶちあける



こじあける



うちあける



伝えられてきたもの

名前 ( ) 年 組 番 ( ) 月 日 点

1 ( ) に合う漢字を、□から選んで書きましょう。

- 天気予報の通り、当日は、( ) **やはり** ( ) 雨だった。
- 兄は、自分の意見を ( ) **あくまでも** ( ) つらぬいた。
- 今年の夏は、暑さの ( ) **あまり** ( ) 野菜がどれなかった。
- 弟は、あれからあの犬には ( ) **決して** ( ) 近寄らない。

決めて  
あまり  
ゆつくり  
あくまでも  
やはり

2 の正しい意味に○をつけましょう。

- スポーツ界で世界的な評価を受ける。
- ( ) 世界の人に認められるような試験を受けること。
- ( ) 世界の人から、いろいろな意見をもらっていること。
- (○) 世界の人から、一流として認められていること。
- せりふに合った**ふり**をつける。
- ( ) 負けたり、損をしそうになること。
- (○) ふさわしい姿や動作をすること。
- ( ) 物をふって、動かすこと。



各10/30

3 の言葉の意味を——でつなぎましょう。

昔からの言い伝えや習慣を次の時代に伝えていくこと。

伝統 伝承 古典

古い時代につくられた芸術作品で、現在も手本として大切にされているもの。

毎日の生活でくり返される人々の暮らし。

昔から受けつがれてきた考え方ややり方・習慣。



各10/30

日本で使う文字

名前 ( ) 年 組 番 ( ) 月 日 点

1 次の意味に合う言葉を、□から選んで書きましょう。

- 日本で、もともと祖先が使っていた言葉 **やまと言葉**
- 中国から伝わった文字 **漢字**
- 日本語の発音を、漢字の音を借りて漢字で表した文字 **万葉仮名**



各10/40

2 日本の言葉について、( ) に合う言葉を□から選んで書きましょう。

- もともと、日本には、話し言葉はあったが、書く **文字** がなかった。
- 仮名は、中国から伝わった **漢字** を元にして作られた。
- 漢字は、一字一字が、音と **意味** をもっている。
- 現在、日本語は、漢字や **仮名** (の他に、ローマ字が使われている。

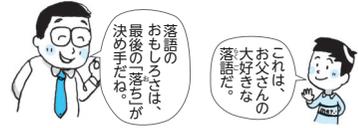
文字 意味 仮名 発音 漢字

3 の正しい意味を選んで、記号で答えましょう。

- ア コンピュータで入力する言葉。
- イ 仮名文字やローマ字など、音を表す文字のこと。
- ウ 仮名や漢字などを交えて書く日本語のこと。
- エ 漢字のこと。



各15/30



表現を選ぶ

172-175

名前 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 組 \_\_\_\_\_ 番 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 点 \_\_\_\_\_

1 次の説明は、ア書き言葉イ話し言葉のどちらですか。

- 自分の思いを、声の調子や表情でも伝えられる。
- 記録として、後世に残すことができる。
- 時間にしばられず、筋道を追って伝えられる。
- その場に応じて、表現の調子を変えることができる。



2 □の言葉を、書き言葉と話し言葉に分けて( )に書きましよう。各10点

- 書き言葉 ( ) 少しも ( ) やはり
- 話し言葉 ( ) ちっとも ( ) やっぱり

ちっとも 少しも やっぱり やはり



3 ( )に合う漢字を書きましよう。各10点

書き言葉では、だれが読んでも分かるように、きょうつう( )て書きます。そして、こうせい( )構成( )やこうじゆん( )語順( )を整えます。書き言葉は、たいてい書き直せないのので、ごかい( )誤解( )をあたえないように誤字に注意します。



思わず使いたくなる言葉の巻

名前 \_\_\_\_\_



体の部分を表す文字を「に」に書くんだね



「ひらめき道場」の「ひらめき」は、ひらめく(閃く)のひらから、め(目)のめから、ひらめき道場(ひらめく道場)です。

自然に学ぶ暮らし

180-188

名前 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 組 \_\_\_\_\_ 番 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 点 \_\_\_\_\_

1 ーの読みがなを書きましよう。各10点

- 人員を減らす。( )へ( )
- 午後、家を空ける。( )あ( )
- 外野の守備を固める。( )かた( )
- 新しい方法を試みる。( )こころ( )

2 次の文の中の( )の正しい意味に○をつけましよう。各10点

- ( ) 新しい暮らし方を一から考える。
- ( ) 現在の暮らし方を見直す。
- ( ) 根本から考える。
- ( ) 自然の仕組みを利用する。
- ( ) 自然に学び、新しい暮らしの在り方を考えていくことが、私たちに求められる社会のえがき方なのです。
- ( ) 現在の暮らしの在り方を問い直すこと。
- ( ) 資源を使わないやり方。
- ( ) 資源を使わないやり方。
- ( ) 未来の暮らし方を考えること。



3 次の文章の( )に合う言葉を選び、( )から選んで書きましよう。各10点

地球の資源は、人間による資源の( )乱用( )で少なくなっており、太陽光などの自然を( )利用( )した新しいエネルギーが開発されている。また、人は、生き物たちが自然の仕組みを利用しているのを見て、学ぶこともできる。例えば、あわの水面でうく性質をおふろに( )応用( )する。このあわを使い捨てにしないで、少ない水量で済むおふろが( )実用( )化できれば、資源である水を大切に使うことができるようになる。



利用 実用 信用 乱用 応用

ひらめき道場

四字の熟語の巻

名前 \_\_\_\_\_



漢字を入れて、四字熟語を作らなだね。



半信半疑

「意味」 本当なのか、うそなのかはつきり分からないこと。



創意工夫

「意味」 今までになかった、新しいやり方などをあれこれ考えること。



カンジー博士の山登り 196-197

名前 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 組 \_\_\_\_\_ 番 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 点 \_\_\_\_\_

1 送り仮名を( )に書きましよう。

- 畑を( 耕す )。
- 知人を( 訪ねる )。

- 危ない( 交差点 )。
- 問題が( 難しい )。



2 読み仮名が、まちがっているものに△をつけましよう。

品目 (ひんもく) △ 息子 (そくし) 行列 (ぎょうれつ) 品物 (ひんぶつ) △ 調子 (てうし) 行動 (こうどう) 気品 (きひん) △ 様子 (ようす) 行程 (ぎやうてい)



3 の読み方が他と異なるものを二つ選んで、○で囲みましよう。

雑音 (ざつおん) 雑用 (ざつよう) 雑木林 (ざつぼくりん) 方言 (ひやうげん) 格言 (げごげん) 伝言 (でんげん) 屋上 (おく) 屋根 (おく) 家屋 (けあ) 手 (て) 頭 (あたま) 手 (て) 頭 (あたま)



4 を文に合う漢字で書きましよう。

人に道を( 聞く )。 頭を( 上げる )。 かげ葉が( 効く )。 手を( 挙げる )。



海の命 ① 200-214

名前 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 組 \_\_\_\_\_ 番 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 点 \_\_\_\_\_

1 文の意味に合うように、代か変の漢字を( )に書きましよう。

- 母に( 代 )わって料理を作る。
- 始業時間が( 変 )わる。

- 四季の移り( 変 )わり。
- 投手を( 代 )える。

2 の言葉の正しい意味に、○をつけましよう。

ひそむ ( ) かくれている ( ) 重さを測らない ( ) 顔をしかめる ( ) えんりよしない ( ) 静かにする ( ) 大切さを知らない ( ) 責任を引き受ける ( ) 背負う ( ) 息が絶える ( ) 相手を投げとばす ( ) 時間がなくなる ( ) 人から頼りにされる ( ) とても腹を立てる ( )



3 と似た意味を表す言葉を、□から選んで書きましよう。

駅まで( 楽々 )五キロはある。 ( ゆうに ) この問題は、( 簡単 )には解けない。 ( なかなか ) その時、母は( 気がついた )。 ( さどった ) 気持ち( がよい )春風が( ふく )。 ( ここちよい )



同じ音ばつかりの巻

名前 \_\_\_\_\_

ややこしいな。 同じ音の漢字を書くんだね。



かわいたグラウンドに、( 給 )水車が水をまく。 ( 休 )日の( 球 )場は、ファンでいっぱいだ。 その時、( 救 )急車のサイレンが鳴りびびいた。

気象( 庁 )の予報通り、当日は晴れた。 予定通り順( 調 )に、目指す山( 頂 )に着いた。 真つ青な空、さわやかな風、気分は最高( 潮 )だった。



パズルに( 関 )心のなかつた母が、最近、漢( 感 )字パズルに夢中になっている。その母の集中力に( 簡 )単ではなかつた。 心した。ぼくは、静( 観 )していたが、自分でやってみると、

ひらめき道場 言葉のご先祖様



「けりをつける」の編

「意味」ものごとを終わらせる。 決着をつける。

短歌では文の最後に「けり」をついて言葉をはやく使ったよな... 見渡せば、花も紅葉もなかりけり。 浦の苫屋の秋の夕暮れ

「花も紅葉もなかりけり」といふ句、さみしき歌だよ。 歌だよ。 秋の夕暮れ、これってどうって... 宿題は、先週の宿題もいっしょにけりをつけてらしたらどうだ？

お、もつ短歌らしくしたらどうなる？ ぼくなら、さしすめ「ぼく」( こうけり )「なかりけり」( こて感 )かな？

「気がつけば、あつてい間になかりけり。ぼくのさいごは秋の夕暮れ、これってどうって...」 宿題がない方がいいな。 せつぐの週末は、宿題がない方がいいな。

名前 ( ) 年 組 番 ( ) 月 日 ( ) 点

1 次の文につながる言葉を選んで——でつなぎましょう。

- 代表選手たちは、ふるさとの期待を一身にひそんでいる。
- こんな静かな会場で、大きい声を出すのは、はばかりれるからかわれる。
- あの林の中に、きっと、逃げたうさぎが背負っている。

2 の読み方を書きましょう。

- 父は、問題点の全てをつかんでいる。 **すべて**
- それでも父は、全く態度を変えない。 **まったく**

3 の言葉を変えて生き生きとした文にします。 から選んで記号を書きましょう。

- いかりの感情がわいてくる。 **ア** 交差する
- 彼女のひとみは美しかった。 **イ** 不意に
- 街角で、急に声をかけられた。 **オ** ウきこえない
- 差し込んだ光が、波の動きにつれ、かがやきながら横切る。 **エ** エふき上がって

4 の文を、「そのもの」という言葉を使って、「健康」を強調する表現にしましょう。

ぼくの体は健康だ。  
**ぼくの体は健康そのものだ。**



名前 ( ) 年 組 番 ( ) 月 日 ( ) 点

1 次の意味に合う言葉を、 から選んで書きましょう。

- ひな鳥が、成長して親元をはなれる。 **巣立つ**
- 気が弱くなり、勢いをなくす。 **くじける**
- 自分自身で実際にやってみる。 **体験**
- 物事を進めていく段取り。 **手順**

手段 手順 体験 巣立つ くじける



2 ( ) に合う言葉を から選んで、文章を完成させましょう。

スピーチの準備について

まず、自分が伝えたい ( **内容** ) を決める。次に、伝えたい思いや体験をもとに、 ( **構成** ) を考える。最後に、場に応じた話し方の ( **工夫** ) を考える。

実際に話す場では、聞き手がどういう人かを考えて、 ( **敬語** ) を適切に使う。また、共通語と ( **方言** ) を使い分け、声の ( **調子** ) や大きさを考えながら話す。

工夫 内容 構成 調子 敬語 方言 段落



名前 ( )

分かったわ 送りがなを 書くのね。



会社に ( **勤める** ) 。

人を ( **疑う** ) 。



今日は ( **暖かい** ) 。

道を ( **誤る** ) 。



水分を ( **補う** ) 。

美しく ( **装う** ) 。

「しっぽ」は、漢字の部首(偏旁)を指す。漢字の部首を「しっぽ」と呼ぶのは、漢字の「しっぽ」が、漢字の「しっぽ」だからだ。

「人間万事塞翁が馬」の編

塞翁が馬 といのは、昔の中国の人の名前のだ。



【意味】不幸が幸せにいつ転じるか分からないのだから、有頂天になったり落胆しすぎてはいけない。

この言葉は、現代にも生きています。

